

6. 導入機能

▶基本方針を踏まえ、導入機能を次のように設定します。

交流と学びによる共生・共創の場づくりに関する機能

▶導入機能例 ・多世代・多文化交流の場 ・人材育成や学習、共創の場 ・地域の伝統文化等の情報発信や多様な文化の相互理解の場 ・食文化や遊びなどの様々な体験、学びを提供する教室、スクール等	▶効果 ・多様な主体の交流促進、コミュニティの活性化 ・次世代人材育成、地域の担い手確保 ・多様な学びの機会提供 ・地域文化の継承、新たな文化創造 ・町への町民、研究者等の定着 ・シビックプライドの醸成
---	---

利便性と安心感のある生活環境の提供に関する機能

▶導入機能例 ・健康、医療、福祉機能 ・スポーツ、芸術、文化、ファッション、美容、健康などの多様なサービス提供機能、余暇の充実に資する機能 ・地域密着型、生活密着型産業（店舗、サービス業）等	▶効果 ・生活利便性、快適性の向上による生活の質の向上 ・楽しみ暮らせる町での選択肢の拡大 ・余暇を含めた生活全般の充実 ・町への町民、研究者等の定着 ・シビックプライドの醸成
--	---

イノベーションの場づくりに関する機能

▶導入機能例 ・各種産業用地・事業用地 ・地域課題・社会課題解決に取り組む新産業や地場産業等の事業所等	▶効果 ・新産業の創出等による地域経済活性化、地域等の課題解決 ・イノベーションと地場産業の融合 ・雇用・就労機会の創出
---	---

交通基盤の整備に関する機能

▶導入機能例 ・モビリティポート・スポット ・次世代モビリティに関するインフラ、実証機能 ・広域アクセス道路	▶効果 ・まちの回遊性向上と町内の交流の活性化 ・町内外へのアクセスの利便性増進 ・交通利便性向上に伴う交流人口、関係人口の拡大
---	---

環境への配慮と豊かな自然の活用を創出する機能

▶導入機能例 ・エネルギー、環境技術に関する実証機能 ・公園、緑地、田園地域のランドスケープ ・生き物とふれあう場	▶効果 ・持続可能な環境配慮型まちづくり ・持続可能な環境形成 ・自然や生き物に触れることによるリラクゼーション、癒し ・自然と生き物を介した交流の促進
--	--

7. 工程計画

※現段階の想定であり、整備や運営に係る財源確保等の状況に応じて随時見直しを図っていきます。

年度		R7	R8	R9	R10	R11	R12～	
町 施 工	計画設計	→						
	都市計画等手続き	→	都市施設の決定、用途地域の変更等を想定					
	用地取得		→					
	基盤整備		→					
	公民連携まちづくり事業者募集、企業誘致等	→	→					
民間 施 工	施設建築、整備				→			
	施設運営					→		

浪江駅西側地区整備計画

資料4

概要

1. 計画策定の背景

▶浪江駅西側地区は、浪江駅周辺整備事業とエフレイ施設の整備と時期を合わせて一体的に整備し、町内で不足する機能を補完することで、各事業・施設が相乗効果を発揮し、タウンセンターの機能の最大化が図られます。

▶持続可能な国際研究学園都市を実現するため、町による基盤整備と民間による施設整備を適切に組み合わせ、公民連携でまちづくりを進めることが重要です。

▶このような背景のもと、町が先導的に基盤整備を行い、民間の投資環境を整え、民間のノウハウを活かした魅力的な都市機能の導入を促進する公民連携のまちづくりについて、包括的な道筋を示すため、本計画を策定しました。

2. 地区を取り巻く状況

▶浪江駅西側には、浪江町地域スポーツセンター、ふれあい交流センター、ふれあいげんきパーク、ふれあい福祉センター、ふれあいグラウンドなどが立地し、公共施設が集中しており、現在では、エフレイ施設の整備が進行中です。

▶浪江駅を中心として浪江駅周辺整備事業と産学官連携施設整備事業が進行中であり、浪江駅東側には、交流施設、商業施設、公営住宅・民間住宅、地域活性化施設、産学官連携施設を整備予定です。

▶エフレイの西側や高瀬川の北側は、県営浪江南地区土地改良事業が計画されており、営農再開に向けた環境整備が進んでいます。

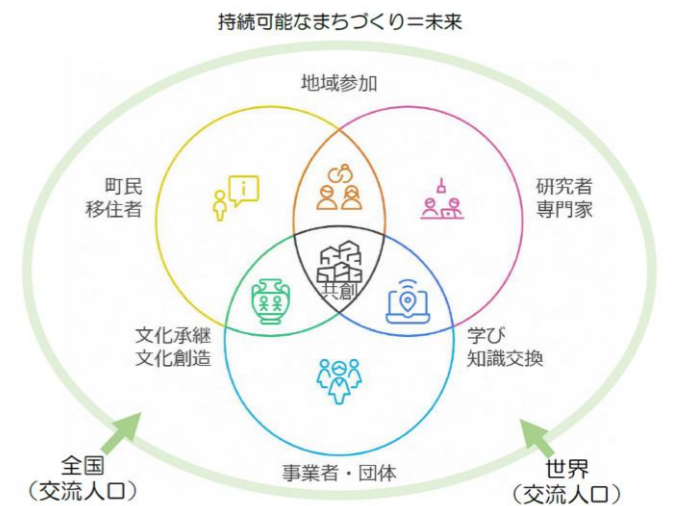
3. 浪江駅西側地区まちづくりビジョン

「浪江町のこれまでと未来が共存し、地域と世界がつながるまち」

▶浪江駅西側地区は、地域の復興と町民の帰還を支援するとともに、エフレイを中心とした研究学園都市として新たな役割を果たす拠点です。

▶この地区では、町民と国内外の研究者等が交流し、地域文化と先端研究が融合する「新しい共存のかたち」を目指します。

▶町民、研究者等が新たな交流を通じて一体となって町の未来を「共創」し、民間資本や民間のノウハウなどを活用した公民連携の視点を併せ持ちながら、持続可能な発展を実現するまちづくりを行います。



浪江町役場 市街地整備課 2025.4発行

〒979-1592
福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
Tel 0240-23-6927

浪江駅西側地区整備計画（本編）は
こちらからご覧ください。→

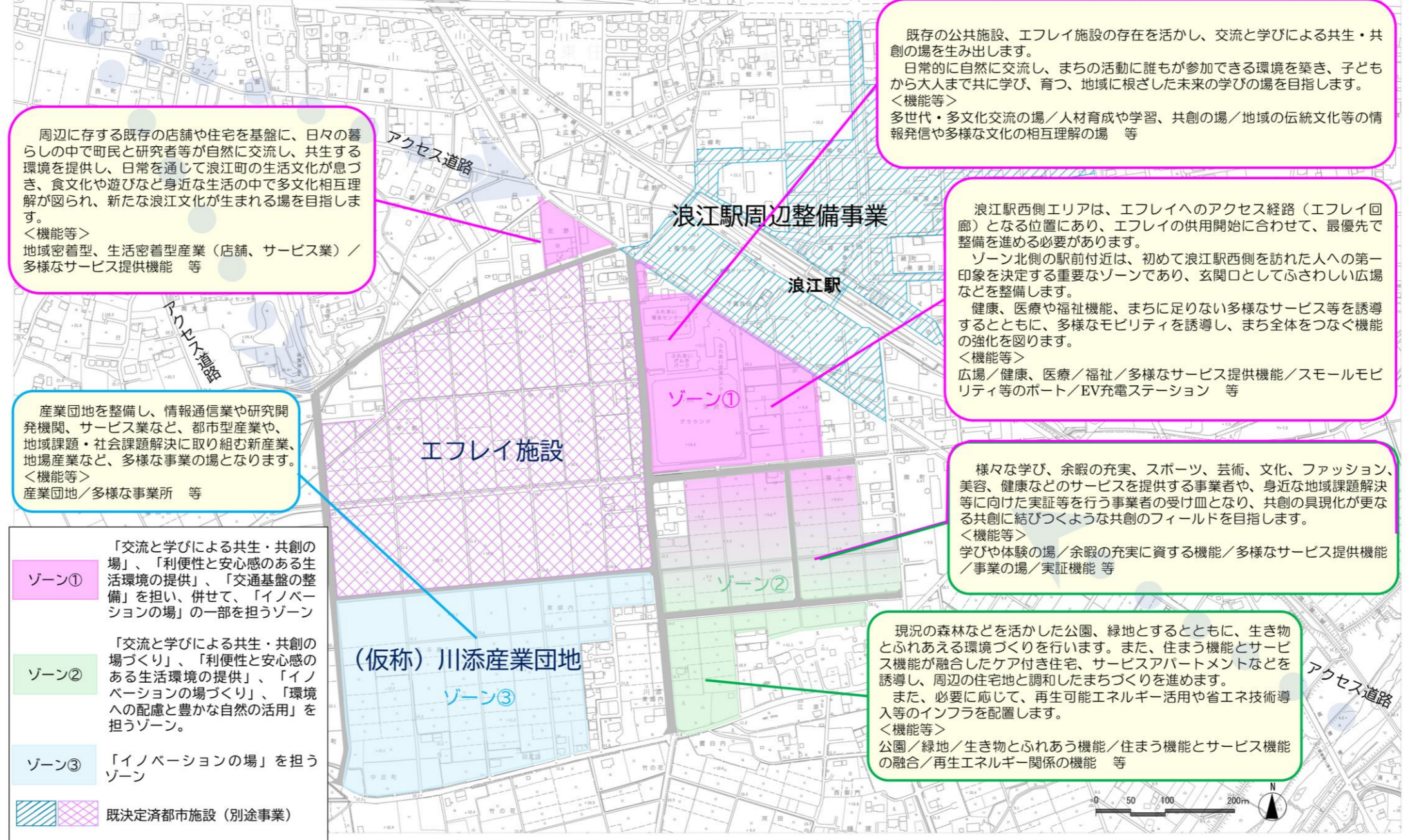




4. 基本方針（大方針）

- ▶ 浪江駅西側地区は、浪江駅周辺整備事業とエフレイ施設整備と時期を合わせて一体的に整備することで、各事業・取組の相乗効果を生み、タウンセンター全体の価値を高め、最大限の効果を目指したまちづくりを進めます。
- ▶ 浪江駅東西自由通路を通じて、エフレイからの人の流れを中心市街地に回遊させて、駅の東西エリアの活性化を進めます。同時に、この地区が町に不足する機能を補い、町全体の復興に貢献するまちづくりを目指します。
- ▶ 今後の浪江町の発展に伴い拡充等が予想されるサービス機能などについて、より質の高い民間投資を促すため、町が先導的に基盤整備を行い、その後の施設や建物の整備、建築、経営、運営は民間による事業として実施します。
- ▶ 浪江駅周辺整備事業やエフレイ施設整備に伴い、この地区の利用者数や利用者の顔ぶれは変化します。地区の成長段階によって、ニーズや課題も変わるため、地区の成長に合わせて柔軟に更新・発展するまちづくりを目指します。

■ 整備イメージ図（現段階の案であり、引き続き、精査していきます。）



5. 基本方針（個別方針）

- ▶ **交流と学びによる共生・共創の場づくり**／既存の公共施設などで、住民と研究者等が日常的に自然に交流し、まちの活動に誰もが参加できる環境を築きます。この交流を通じて、研究者等が浪江町の生活、歴史、文化に触れ、この町を生活の場として選ぶきっかけをつくります。
- ▶ **利便性と安心感のある生活環境の提供**／地域密着型、生活密着型のサービスを提供する店舗に加えて、健康、医療や福祉機能を誘導し、誰もが安心して暮らせる生活環境を創出するとともに、まちに足りないスポーツ、芸術、文化、ファッション、美容、健康などの多様なサービスや体験を提供す

- る事業を町に呼び込み、暮らしの選択肢の拡大と余暇も含めた生活全般の充実を図り、子どもも大人も楽しく生活できるまちづくりを進めます。
- ▶ **イノベーションの場づくり**／福島イノベーション・コースト構想等を踏まえ、町から失われた産業の回復を促進するため、新たな産業団地を整備し、情報通信業や研究開発機関、サービス業など、都市型産業の誘致を進めます。
- ▶ **交通基盤の整備**／浪江駅西側地区の交通基盤は、域外から訪れる研究者、事業者、観光客等が快適に移動できる多様なモビリティを誘導することで、まち全体をつなぐ機能の強化を図ります。
- ▶ **環境への配慮と豊かな自然の活用**／町の

カーボンニュートラルの目標達成に向け、当地区においても再生可能エネルギーの積極的活用、エネルギーの地産地消、省エネ技術導入等により、持続可能なまちづくりを目指します。

